

やまびこフェスティバル



旧南小学校閉校30周年記念カプセル



3年生によるイタリアンレストラン



6年生による赤石太鼓の演奏



大井川鐵道の各駅が書かれた輪投げ



4・5年生による川根茶カフェ



1・2年生によるお茶のいれ方発表

12月16日(土)本川根小学校で令和5年度やまびこフェスティバルが開催されました。児童が主体となって、地域の皆さんを笑顔にしたいという思いから、学年ごとに企画・運営を行いました。

低学年は、「おいしいお茶のいれ方」や「川根本町の食材」についての発表を行い、来場者には発表を聞くことで町の食材を使ったイタリア料理や川根茶を堪能できるチケットをプレゼントしました。4・5年生は、先日開催した青部駅カフェを通して感じたことを発表し、川根抹茶スイーツ等の提供を行いました。6年生は、4月から探求してきた川根本町の魅力について発表し、温泉や大井川鐵道の復旧等に対する思いを伝え、輪投げや射的を通して、手作りの「しおり」をプレゼントしました。

また、「思い出ルーム」では、過去17年分の写真や卒業アルバム、文集等が展示されたほか、旧南小学校30周年記念タイムカプセル(平成13年11月17日)の開封を行い、当時の西川校長、上野教頭、大澤教諭が立ち合いました。エンディングセレモニー(閉校記念セレモニー)では、6年生による赤石太鼓演奏「小長谷城陣屋太鼓」「赤石山霊籠神太鼓」が披露されたほか、児童オリジナル作曲の「川根本町音頭」を来場者とともに踊り、盛況のままイベントの終わりを迎えました。

青部駅で CAFE CHABATAKE を開催しました！

11月30日(木)本川根小学校の4・5年生が主体となり、青部駅でカフェを開きました。現在は使用されていない駅舎を、「みんなが集まる場所に戻したい」という思いから、自主的に駅カフェ計画を立て、抹茶スイーツの提供や地元野菜のマーケットなどの出し物を行いました。

また、低学年によるクイズの出題や、6年生による「川根本町音頭」が披露されました。



地域住民と一緒に全員で川根本町音頭を踊る様子



地元野菜のフリーマーケット



川根茶カフェの様子